

成績評価報告・講評

法学特別演習・憲法（青山キャンパス 月曜 3限）

佐々木高雄

20名

評価対象外 1名 (5%)

AA=5.28% A=63.15% B=5.28% C=5.28% XX=21.05%

学部所定の比率と異なる理由

年度初めに配布した『2009 年度講義内容（法学部）』p.161 に記しておいたように、「教場で答案作成する」という科目の特質上、出席を重視した成績評価法に従った。すなわち、「1/3 (= 5 回) 以上の欠席は不合格」との前提のもと、期末試験は、行わず、毎回の答案の出来映え(20%)、出席回数(40%)、授業中の発言(40%)で評価した。

問題／課題 ——

出題意図 ——

講評

上記の『講義内容』をよく読んで受講登録した者たちが大半であったため、発言を求められて萎縮し、沈黙するようなことのなかったのは、幸いであった。しかも、回を重ねるごとに積極性が増し、それぞれの学習度合に応じて、それなりに何とか答案をまとめ、質問に答えようとの意欲を、強く感ずることができたように思う。最後の頃には、受講者間で次週の問題についての予想を競い合う雰囲気まででき、「答案練習の動機づけ」という目的は、ある程度、達成できた、と喜んでいる。